

平成十三年度 修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覽

大学院修士課程

専攻

氏名

論文題目

真宗学 今西 満 『大無量寿經』に開かれる無上仏道

―本願の行信―

同 武井 晋

本願の信

同 藤元 雅文

誓願の行信 「真実の行信」と「方便の行信」についての究明

同 矢田 正朋

願心の回向成就

同 大川 哲也

日本の宗教思想に於ける浄土真宗の普遍性とその展開

同 鈴木 晃典

親鸞の救済観

同 廣田万里子

群萌の仏道 ―選択本願念仏の考察

同 大原 晋

『往生要集』の研究

同 久保田俊明

回向の仏道

同 齊藤 曉雲

願力回向の信

同 高屋 宣昭

本願の行信 ―親鸞の立脚地に学ぶ―

同 延岡 潤照

親鸞の仏弟子観

同 日野 圭悟

親鸞における主体の問題

同 平野 慶之

誓願一仏乘

同 藤井 真隆

親鸞の学仏道

同 本多 了英

名号論 ―本願念仏の仏道―

同 光川 眞順

報土往生 ―大悲の誓願

同 圓谷 正

親鸞の救済観 出離生死の道

同 大照 卓

回心懺悔の自覚道

同 齊藤 研

樹心弘誓仏地 ―疑謗を縁とす―

同 佐々木誠信

親鸞の救済観 ―自覚の仏道―

同 武宮 顕紹

願生の仏道

同 富岡 量秀

願心莊嚴 ―本願の国土―

同 藤並 慈美

親鸞の値遇観 ―千載一遇の機会―

同 藤間 哲祐

広開浄土之門

同 水野 真成

親鸞の宿業観

同 森 剛史

親鸞の戒律否定についての一考察

同 義盛 幸規

真実の成就 ―本願成就文を通して―

同 石黒 将義

唯識における種子説

同 楠 宣生

―『成唯識論』卷二を中心として―

同 廣瀬 洋

『十住毘婆沙論』に於ける修行と段階

同 山下 基宏

vakyapadya におけるバルトリハリ

同 渡邊 文子

によることはの絶対性の証明

同 渡邊 文子

Dharmastuta 文献及び Mahabharata 12章を中心とする astama 論の展開

同 渡邊 文子

Milinda panha における輪廻思想

同	新納 哲	『縁起』の研究 — prasaṅgapada を中心に —	同	眞嶋 夏樹	ソシユールの意味の理論 ヒュームの『Treatise』における人間 研究の思想的意義
同	浅井 澄人	梵天勧請の意義 — 自己と他者との関係性を中心に —	同	今井 正	ベンヤミン「暴力批判論」における目 的と理念
同	前田 健雄	大乘仏教における無我の考察 龍樹における涅槃への道程	同	野崎 亮太	中部ジャワにおけるジャティラン芸能 をめぐる現在 — ジョグジャカルタ 近郊農村における事例 —
同	都 真雄	賢首法蔵の成仏観	社会学	矢野 博之	「御講」の社会的機能とその消滅要因 — 奥能登深見町の事例 —
同	福田 大輔	釈迦族滅亡に関する諸伝承	同	矢花 秀樹	現代社会における家族病理の研究 — 家庭内の暴力と虐待を中心に —
同	荒田 直子	『イデーノンⅡ』における身体構成の問 題	同	山崎 光祐	現代における「まつり」の社会的機能 — 京都府木津町の「ふとん太鼓台ま つり」の事例から —
同	奥田万里子	ヒュームの穏やかな懐疑論 — 人間的自然本性との関係 —	同	高嵩こゝろ	日本における学歴エリート像の歴史的 変遷
同	田野 美華	『哲学的探究』をめぐる — 中国教育史研究	同	大橋 卓士	日本の高齢者問題と高齢者福祉の現状 — 京都市を中心に —
同	望月 太一	— 特に遼・金・西夏について —	同	山崎 光錫	『監獄の誕生』についての一考察 ニーチェ『道德の系譜学』における価 値の問題について
同	顧 宇	J・S・ミル『自由論』研究	同	黄 止琬	ハイデガー『存在と時間』 — 存在了解について —
同	杭田 浩和	『過ちやすき人間』を中心にして —	同	楠樹 阿耶	『牛頭天王縁起』について — 吉田文庫本の論理と意図 —
同	山本 啓介	— 『過ちやすき人間』を中心にして —	同	千頭 仁美	現代中国の教育と児童読物
同	鹿宗 潤児		同	千頭 仁美	
同	新良 哲也		同	千頭 仁美	
同	長谷川琢哉		同	千頭 仁美	

- |      |       |   |   |       |   |
|------|-------|---|---|-------|---|
|      |       | ～古典文学が果たす役割～  |   |       |   |
| 同    | 森元 綾奈 | 中島敦論  | 同 | 近藤扶美代 | 伝説から演劇へ   |
| 同    | 中江 円至 | 近世四国遍路の研究 —特に『遍路日記』の分析を中心に—                           | 同 | 呉 芳   | —「川」と「壁」で隔てられた恋愛<br>Is Lee in Steinbeck's <i>East of Eden</i> an epic-sized hero? |
| 同    | 吉水 紀章 | 後漢期における官僚制度と儒家思想                                      | 同 | 朱 虹   | 現代日本語と現代中国語における外来語（表記）について  |
| 同    | 有松 志保 | 明代華僑研究  |   |       | アリス世界における食文化考察  |
| 同    | 向本 健  | 西夏王国史研究   | 同 | 山田 康子 |   |
| 同    | 伊久留 睦 | 『心中天網島』の改作 —観客の嗜好と要求がもたらしたもの—                         |   |       |   |
| 同    | 小林 智光 | 鎌倉物語における出家譚と主人公の人物像について —『あまのかるも』                     |   |       |   |
|      |       | 『しのびね』『しづくににごる』などを中心に—                                |   |       |   |
| 同    | 中曾根進一 | 話の関連性 —『沙石集』について—                                     |   |       |   |
| 国際文化 | 井内 真帆 | Rin chen bzang po 伝研究 —mNga ris における仏教復興運動について        |   |       |   |
| 同    | 小笠原智子 | 日独の大学 —歴史と現状  |   |       |   |
| 同    | 中西 英作 | 19世紀イギリスにおけるパブリック・スクールの功績とその影響力 —トマス・アーノルドの教育理念とその実践— |   |       |   |
| 同    | 大橋 哲  | レスボンソリウム考察によるグレゴリオ聖歌のアレルヤ唱と大谷派声明の念仏和讃の比較              |   |       |   |

文学部

真宗学科

専攻	氏名	論文題目
真宗学	有本 英晃	他力の救済 ― 悪人正機 ―
同	井手 紹信	本願における「唯除」の意義
同	小畑 隆弘	親鸞における出遇い
同	郡山 高司	処世の立脚地
同	近藤 遠	親鸞聖人の人間観
同	澤邊 紘行	親鸞一人 ― 自己と自我について ―
同	経森 崇洋	悪人往生
同	中野 了	願生浄土
同	野々山祥寛	親鸞の回心
同	藤原 一英	悪人正機
同	藤間 祐真	本願について
同	星田 晋伺	愚禿釈親鸞
同	三木 泰弘	浄土真実の行
同	青井 裕介	本願成就 ― まことの救いとほ ―
同	粟津 覚正	自然法爾
同	安藤 真	往還廻向由他力 ― 曇鸞から親鸞へ ―
同	一柳 淳徳	はじめに名号あり
同	伊藤 教信	愚身の信心
同	伊藤 正志	群萌の仏道 ― 凡夫の自覚 ―
同	入野 司	親鸞の念仏観
同	宇佐美賢治	生死出ずべき道
同	大谷 泰行	真宗における「疑」について
同	大西 正隆	悪人成仏
同	大場 澄	真実の教 大経
同	大場 潤一	生死出ずべきみち
同	大山 聡史	真の仏弟子
同	岡本 尚之	親鸞の人間観
同	小崎 誠之	浄土の慈悲
同	小野 賢明	本願成就の信
同	小野 隆	親鸞における生死観
同	加藤栄一郎	唯信の仏道
同	上大迫真佐昭	親鸞の信心
同	川原 祥平	回心について
同	木谷 実喜	悪人正機 ― 阿闍世の回心
同	木塚 哲	四海の内みな兄弟とする
同	小嶋 祥平	念仏と信心
同	小西雄次郎	処世の立脚地 精神主義
同	後藤 慶樹	誓願不思議
同	崔 秀一	悪人正機
同	佐々木 聡	― いずれの行もおよびがたき身 ―
同	佐々木 剛	二種深信
同		親鸞の回心



同	佐渡 雄太	往生について	同	菱川 麻子	本願の番号   諸仏のすすめ
同	島 慶史	親鸞の人間観	同	日野 瑞顕	浄土の仏道   時機相応の教え
同	清水 寛志	生死出づべき道	同	平野 法子	宿業観
同	鈴木 真記	四海のうちみな兄弟	同	福永 拓也	親鸞の人間観   歎異抄を通して
同	高野奈都子	願生浄土	同	藤 真敬	悪人正機
同	高橋 高人	回心	同	藤岡 剛士	無礙道   西光万吉と親鸞
同	高松 俊輔	教法の伝承   親鸞の思想から後世に	同	本多 信行	真宗を通しての救済
同	竹本 真也	受け継がれる浄土真宗	同	牧野 邦壮	清沢満之における他者と社会
同	田辺 彩	信心獲得	同	牧野智紗子	精神主義を中心に
同	谷 祐真	念仏の行者、よき人との出会い	同	真井 沙織	浄土の慈悲
同	坪井 政興	親鸞の救済観	同	松崎 朋子	人生観
同	坪田 成永	往生と成仏	同	鞠川 香織	帰命と独立
同	富 淳之	自力無功について	同	水野 慶成	ただ念仏
同	豊吉 倫江	生死出づべきみち	同	南 敏仁	後悔しない人生のために
同	中原 英喜	如来の回向   真実との出会い	同	村上 静樹	親鸞の信心観
同	中村 円	『歎異抄』第七章・「念仏者は、無碍の一道なり」についての考察	同	本澤 盛正	回心について
同	永井 路子	往生道   悪人正機	同	山口 淨華	親鸞の回向論
同	永宝 晴香	人間最上の幸福	同	山下 智美	親鸞における念仏理解
同	西原 聡子	無碍の一道	同	山田 亮	無碍の一道
同	橋本 正暁	信心	同	山野健太郎	浄土の慈悲
同	治田 裕臣	現生正定聚	同	吉岡 量	弥陀の本願   凡夫の救済
同	馬場阿弥子	親鸞の念仏観	同	吉田 佑樹	念仏の行者   真宗における念仏の意義
同		無碍の一道	同		親鸞における宿業と本願

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同				
	澤田	佐藤	柴田	織田	小笠原	岡川		大澤	大城	枝川		岩崎	今西	稲垣	石田	居相	安積	明野	青木	佐伯	渡邊	頼尊	
	亮	誠幸	和貴	恵雄	智秀	恭		充	史雄	慶悟		歩	洋子	富治	晃純	一雄	義道	優子	悟人	充洋	雅也	恒信	
回心		名号に開かれる信	親鸞の回心	真实信心	信心の行者の歩み	出世本懐		浄土の慈悲	近代的人間像の超越	本願の成就		生と死の依りどころ	真宗の「阿弥陀仏」観	浄土の慈悲	空しく過ぐるひとなし	現生正定聚	悪人成仏	親鸞の宿業観	如来よりたまわりたる信心	誓願不思議	無碍の一道	汝自当知	機法二種の深信
						「歎異抄」を中心として			「歎異抄」第一章を中心にして		「歎異抄」第一章を中心にして												

仏教学科

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	長友	田中	竹端		桑田	川崎		奥田	山田	林		前田	開	蜂屋	野原	永蘂	永井	中根	田中	竹内	高橋				
	拓也	宏樹	秀壽		貴美子	巨平		拓己	智久	隆三		厚子	雄喜	正信	量照	裕之	理香	温	伸幸	恭平	良輔				

悪人成仏

悪人成仏

浄土の慈悲

ただひとたびの回心

――出遇いを中心にして――

悪人成仏

すえとおりたる大慈悲心

凡夫の自覚 ―二種深信を通して―

「三願転入」について

本願の名号

親鸞の同朋観

如来よりたまわりたる信心

仏教と武道

法華経における一乗と三乗

末法思想の研究

――現代における意義――

「法句経」における仏教思想

仏教は現代日本において犯罪抑止力となりえるか

「入法界品」における善知識について

仏陀の入滅の意義

「華嚴経」における善知識

同	村上 良樹	撰大乘論における三性説の解明	同	佐々木麻衣	三性説 ―こころの世界を考える―
同	浅野 智子	常不軽菩薩について	同	高津和香子	撰大乘論におけるアーラヤ識縁起思想
同	菅谷 昌樹	『華嚴経』「入法界品」における菩薩道	同	高名 光丸	撰大乘論における三性説の研究
同	東 加寿子	長者窮子譬の研究	同	高橋絵梨子	撰大乘論におけるアーラヤ識説について
同	有馬 直人	撰大乘論における三性説の考察	同	高山ゆかり	善財童子と善知識
同	安崎 洋美	人間苦の考察	同	竹原 努	『華嚴経』入法界品の末会についての研究
同	海老名俊徳	三性説の研究	同	竹村 真善	涅槃経における阿闍世の救済について
同	大槻 峰之	三性説について考える	同	竹本 直貴	大乘仏教における信について
同	大鶴 和也	「孤独」の研究 ―仏教の視点から―	同	田地 美香	現代人が考える死と仏教が説く死
同	岡崎 真大	撰大乘論における三性説	同	田中 良宏	仏教と児童福祉
同	角野 麻里	入滅直前の釈尊の説法	同	谷 さとみ	善財童子と様々な善知識の出会いについて
同	笠原 綾子	―アーナンダとの対話を中心に―	同	玉出 亮子	チユンダの供養
同	片岡 智博	三性説について	同	中堂 朋子	地獄の思想
同	片倉 玄徳	唯識無境の考察	同	土佐 洋子	「ジャータカ」が仏教美術に与えた影響
同	金谷 広司	―唯識二十論を中心に―	同	内藤 綾子	デーヴァグッタの悪行
同	川島 範子	瑜伽行における唯識思想	同	中地 貴子	―醉象ナーラーギリの説話より―
同	岸本しのぶ	親鸞所引の『華嚴経』文の研究	同	中務 雄太	仏陀の葬儀次第
同		『華嚴経』入法界品における反道行の善知識について	同		撰大乘論における真実の教えについて
同	北川 佳誉	撰大乘論における三性説について			
同	北村和歌子	仏教における唯識という哲学的思想			
同	久保 満秀	三性説に見る心の構造			



同	田中 雅也	古代インドの食事と健康	同		
同	富沢 栄昌	『バガヴァッド・ギーター』におけるクリシユナの教説	同		
同	中西由美子	初期仏教における苦	同	内海 由紀	死の証明について
同	寺崎 貴弘	ガンジー思想とインド独立運動	同	無意識の態度	
同	八田 盛宏	古代インドにおける祖霊について	同	ユング『心理学的類型』	
同	平間 大	ヴェイシユヌとそのアヴァターラについて	同	カント『道徳の形而上学の基礎づけ』の研究	
同	森 晶子	サーンキヤ哲学における二元論と苦	同	カントのアンチノミー論	
同	山口 容加	呪法 ー『マハーバータ』を中心として	同	シエラーの生命論	
同	福井 匡	ジャイナ教における解脱観	同	シエラーの生命論	
同	上野 茂樹	シク教 ーグル・ナーナクの教えとインド文化	同	栗田 浩志	ニ・ヴェイトゲンシュタイン『論理哲学論考』の研究
同	久保田彩香	インドの仏像崇拜について	同	小林 智	ニーチェの超人思想
西洋哲学	犬塚 豊	デカルト『方法序説』研究	同	住友健太郎	ニーチェ『道徳の系譜』研究
同	奥村 裕樹	コギトについて	同	中野あゆみ	ハイデッガー『存在と時間』研究
同	五味 晃典	ーデカルト『方法序説』研究	同	藤長 緑	カントの「超越論的感性論」
同	根岸 恭生	ニーチェ著『道徳の系譜』について	同	藤本 貴正	キェルケゴール『おそれとおののき』研究
同	松山恵美子	プラトン『カルミデス』思慮の健全について	同	古川 聖	エロスについて
同		プラトン『パイドン』における魂の不	同	堀田 龍平	ープラトン『饗宴』研究
			同	松岡 真実	ヤスパースの限界状況論
			同	山田 朋子	死への不安について ープラトン『ソクラテスの弁明』研究
			同		自己の存在について

同	山之内寛武	ヴィトゲンシュタイン『論理哲学論考』について	同	山之宮寿裕	「マクドナルド化」現象の考察―昭和天皇の戦争責任有無は形而上学的にどう問われるか
同	山本 晃	真理と方法	同	奥谷 梨沙	心のありかについて
同	吉田宗一郎	―デカルト『方法序説』研究―	同	梶川 貴弘	虚構を現実化する方法論
同	若井 建太	カッシーラー『人間』について	同	門 哲司	倫理的に生きる
同	藤原 大輔	『道徳形而上学の基礎づけ』の研究	同	川上 卓也	車社会と人間
倫理学	笹谷 優	大森荘蔵の時間論	同	河村 香織	メディアの倫理
同	上村こころ	本田勝一の倫理観について	同	北村 倫子	個人の尺度の変化について
同	重岡 和夫	プラトン『メノン』について	同	久保勢津子	―相対主義の問題―
同	高田祐一郎	ニーチェ『道徳の系譜』について	同	桑原 勇樹	「死の選択」について
同	垂水 俊輔	カント『永遠平和のために』について	同	桑原 京子	なぜ道徳的であるべきか
同	辻 和弥	人の心(精神)の存在意義	同	近藤 雅哉	プラトン『饗宴』について
同	矢留 仁道	功利主義について	同	坂上 恵	フランクフルにおける「生きる」といふこと
同	山本亜由実	時代のイメージとしての音楽表現	同	杉田 元志	遺伝子操作の道徳的問題
同	渡邊 和樹	「わたし」になるといふこと	同	住友 和彦	死刑制度について
同	井口かおり	―名前をめぐって―	同	高野 総子	共有される意味 ―他者と心―
同	井出陽二郎	J・S・ミル『自由論』について	同	田中さゆり	自殺について
同	糸井 政人	他者の他者である私	同	手島 純平	ハイデッガー『存在と時間』について
同	井上 綾子	クローン技術に関する生命倫理的考察	同	中嶋 洋介	殺人の精神と倫理
		察 ―何故ヒトクローンは規制されるのか―	同	中務 生子	なぜ人を殺してはいけないのか
		私の周りの心の病い	同		―道徳を守る理由―
		均質化する文化	同		幸福論



		社 会 学 科			
同	前川 直登	同	シユタインの言語観から―― 生きる意味	同	同
同	松丸 勝仁	同	偶像の正体 ――カリスマの定義について――	同	同
同	森西 拓也	同	天理教について	同	同
同	山内 美和	同	ニヒリズムについての一考察 ――ニーチェの場合――	同	同
同	山根 千佳	同	特定の宗教を信じない人の幸福の基準 ――「生と死」を見つめて――	同	同
同	渡邊 直子	同	民間信仰について ――桜井徳太郎を中心に――	同	同
同	足立 秀高	同	人と犬の関係論	同	同
同	秋山 寛子	同	知能検査の方法と結果表記 ――その展開と問題――	同	同
同	瀬藤 修平	同	日本のモータースポーツに関わる問題 点	同	同
同	藤村 幸子	同	高齢化社会と若者	同	同
同	望月 弘明	同	人権思想の展開と問題	同	同
同	愛知 宗磨	同	社会とロック	同	同
同	赤井 千浩	同	コンパニオンアニマルの役割と人間との相互関係について	同	同
同	秋藤 豊	同	つめこみ社会とゆとり社会	同	同
同	足立 五郎	同	――教育問題を軸として――	同	同
同	荒井 正明	同	薬物と犯罪 社会での他者との上手な関係の持ち方 について	同	同
同	池田 純子	同	食行動の意義について	同	同
同	池元 政文	同	地域社会の変化と人間関係	同	同
同	石田 昌也	同	社会的スキルと対人関係の形成	同	同
同	石田 洋治	同	日本プロ野球界における、プロとアマの組織的考察	同	同
同	伊藤 昌子	同	ストレスについて	同	同
同	岩田 明子	同	現代社会におけるカルト	同	同
同	大倉 雅浩	同	痴呆性老人の日常生活機能と介護者の意識	同	同
同	太田恵美子	同	中国茶とその利用形態	同	同
同	太田真由美	同	日常生活における色の選ばれ方についての研究	同	同
同	大秦 哲兵	同	少年犯罪の特徴とその動向	同	同
同	梶田真奈美	同	障害者に対する偏見・差別	同	同
同	金澤 愛	同	仏教と女性問題	同	同
同	上林 恭子	同	ことばと日本の社会	同	同
同	亀井 利佳	同	人と動物の絆	同	同
同	岸本 由美	同	子どもの自己形成	同	同
同	木下 昌子	同	――現代社会における―― 高齢者福祉について	同	同



同	日下部文有	IT革命における個人情報	同	中村 仁美	慢と社会的比較過程理論・SEMモデル
同	熊谷 幸子	旅行者行動の心理学について	同	長野 絃平	流行現象の社会心理学
同	桑原 正史	親子関係と子供の問題行動	同	新實幸太郎	現代日本人の主体性とその条件
同	小泉 尚子	なぜ17歳か	同	西村 有美	未婚化・晩婚化
同		―少年犯罪の社会学的考察―	同	野口亜希子	人生の発達段階における心理
同	小林 万里	高齢者の心理について	同	野々真里奈	被服と自己について
同	近藤 繁香	ケータイ・Eメール考	同	野村 智宏	山中漆器の歴史と現状と今後の課題
同	今野 彩夏	現代社会とインディアン	同	碓 由美子	母性の形成過程についての考察
同	齋藤百合子	現代の親子関係	同		性の「形成」と子どもの養育関係
同		―しつけを中心として―	同	波尻 和朗	少年犯罪と少年法
同	坂根千雅子	被服行動の社会学	同		―そこから見えるもの―
同	下山 徹也	パチンコ産業における依存症問題	同	八田 謙治	地球温暖化
同	實守 慶子	子ども虐待 ―連鎖を断つために―	同	福井留美子	薬物依存症についての考察
同	高塚 悠子	現代の癒しブーム	同	福川 雅士	部落差別問題を考える
同	高山 裕美	現代人とベット	同	藤井 寿子	自己開示の社会心理学的研究
同	武部 憂香	豊かさの社会学	同	古林 祐子	日本人の結婚観
同		―循環型社会をめざして―	同	前田 由香	シングルマザーを選択する女性たち
同	谷端 依子	医療制度の中でのユーザーとしての患者の位置付けとは	同	松田 晴美	戦後日本におけるごみ問題と生活環境の変化 ―大津市の事例を含めて―
同	千葉美愉喜	集団行動におけるリーダーシップについて	同	松森 丈晴	「京都の景観問題」について
同	津田 貴史	子ども虐待とのつきあい方	同	三上 豊貴	自動車社会の現状と問題点について
同	中井 智子	テレビの影響と子供たちの生活	同	水澤 里美	個人空間についての研究
同	中島 伸和	学校制度の問題点について	同	村岸 陽子	悪女論

同	矢倉 美幸	食生活とコミュニケーション ー 交わりゆく家族関係ー	同	松田亜里砂	顔は何を語るか 尊厳死と安楽死
同	矢幡 真吾	日本流通産業の発展について	同	桑原 健泰	安宿から見た各国の異文化交流にお ける違い
同	山田 麻貴	高度消費・情報社会と摂食障害	同	塩田 文平	
同	山本 祥子	「最近の若者」論	同	藤島 顕	性的倒錯発生の心理
同	山本 直樹	高齢者問題への取り組み	同	秋田こずえ	家庭教育を考える
同	渡邊はるか	会社と転勤	同	天野 美紀	ー 非行の事例研究からー
同	渡邊 義太	メディアの変遷	同		交流教育についての一考察
同	和田謙太郎	介護保険制度の諸問題とこれからの介 護	同	池垣美奈子	ー 障害児者（とりわけ自閉症児）か らのアプローチー
同	泉 誓志	サッカーという闘い ー サッカーと政治ー	同		ドメスティック・バイオレンスにみる 男と女
同	岩永 義仁	地域密着型産業について	同	石川 尚美	色彩が我々に与える影響と効果
同	宇野 洋樹	警察の組織とその病理	同	石角 大樹	歴史教科書問題と戦後教育
同	大西 敦子	東南アジアの児童労働	同	伊藤 剛仁	現代食生活論
同		ー 搾取される子どもたちー	同	岩坪 伸弥	日本における特撮ヒーロー番組の遍歴 とその在り方
同	岡崎 薫	地球温暖化防止へのとりくみ	同	植谷 芳彦	青年期におけるアパシー傾向について
同	岡田 優	琵琶湖の水環境について	同	大石 里美	真の愛への問い
同	隠塚 明子	動物が人に及ぼす影響	同		ー 教育愛と関わってー
同	小林 彩	日本のゴミと環境	同	大下 修弘	大麻と人間との関わり ー 自然との共 生を目指す人間の生き方ー
同	相良 昌世	ー 比較社会的視点からー 地域のあり方と生活環境	同	大野 僚	臨床教育学への可能性
同	角 沙織	ー 耶馬溪町の事例を中心にー 社会現象としてのカフェ	同		ー 反省的実践としての授業ー

同	金井 千恵	児童文学の教育的意義と選択
同	金田明日香	家庭における人間関係の考察
同	川井 美夏	恋愛論
同	川口 桃子	宗教によって人は救われるのか
同	川崎 奈美	現代における幼児虐待
同	川畑 亜矢	家庭教育に関する一考察 ―不登校の遠因と教育の在り方を考える―
同	木田 典子	笑い
同	衣川 洋子	人間関係の認知と感情についての考察
同	木村 滝子	自己実現への過程
同	経田 笑美	―自己分析からのアプローチ―
同	楠 無量	『女』について考える
同	小原 健人	―性差はなぜ重要視されるのか―
同	齊木 まり	肥満とダイエット
同	齋藤 武治	スポーツ選手におけるメンタルトレ―
同	重田美紀子	ニングの効果
同	杉浦 陽子	「家」意識の変化と墓
同	関 有子	サッカーの歴史と戦術の変化
同	高田 知佳	青年期の自我形成
同		日本女性の生活についての考察
同		家族のあり方について
同		人間の生き方をめぐる一考察
同		―文学作品からの心理的考察―
同		教育の一考察
同	中川まゆみ	―子供の死生観と関わって―
同	中西裕美子	色彩と人
同	奈良 靖子	子供の教育に関する一考察
同		―子育てを中心として―
同	前川 宜緩	「土曜学校」で学ぶ子どもたち
同	柘井 勇一	―児童教化研究会の実践を通して―
同	松原 智美	日米野球の地域との関わり
同		社会・文化の持つ教育者としての姿
同		自己開示に影響を与える諸要因について
同	松原 有梨	男女間における性意識の違い
同	丸岡 美緒	私の源氏物語 ―女三の宮
同	森川 公子	スクールカウンセラー
同	安田千津江	依存と孤独感の関係について
同		―依存は良い事？悪い事？―
同	山口 順子	青年期の心
同	山口 真世	子どもの心的発達における「甘え」について
同	山本 悦子	人格形成に関する考察
同	戸田千雅子	14歳A少年の殺人
同	浅田 一生	「自殺」について
同	泉 奈穂	サブリミナルトリック
同	荻沢江吏子	少子化現象の発生とその影響
同	神尾 宜孝	日本人と野球

同	清水 裕子	学校に適應できない児童たち ―LD児を中心として―	同	岡田 陽子	額田姫王の研究
同	神保 裕美	障害者の生き方についての一考察 ―地域障害者センターの実践から考 える―	同	小坂 朋子	日本の女・川島芳子 ―恋と革命の異性装―
同	千葉 美和	「キレル」子どもの根源と教育の課題 について	同	折本華奈子 甲斐 裕美	中世日本の人々の世界観 持統天皇論
同	樋口 誠	攻撃性の彼岸 ―境界線上の能力とその所在―	同	粥川 良子	―吉野行幸をめぐって― 日本古代の色彩
同	藤岡 直大	日本の野球とトレーニングについて	同	河内 雄	山科七郷と山科本願寺
同	湯村 亮	ベースボールとニグロ	同	川並 文子	星宿図とキトラ古墳
			同	北村 篤史	安土城 ―信長と中世王族― 西周についての一考察
			同	木村 夏子	―学問と実業―
			同	児玉 晃	中世民衆の団結精神
			同	小早川千佳	戦後の平和教育と藤岡信勝の平和・戦 争観
国史学	内田 浩平	越中勝興寺について	同	後藤 郁子	近代における広告について
同	長田 直之	京都の座からみた京都	同	佐藤 伸江	吾妻鏡の研究 ―頼朝將軍記を中心に―
同	三木久美子	淀川茶船について	同	猿木鍊太郎	近代を端緒とする言語アイデンティテ ィー形成史
同	四十沢綾子	平安貴族の医業について	同	澤井 洋美	武田信玄の領国統治と民衆
同	井口 桂子	明治期における仏教と戦争	同	塩田 木綿	日本古代国家と渡来人 ―今来漢人を 中心として―
同	石本 仁美	武田信玄の領国支配 ―信濃を中心に―	同	柴 知里	中世被差別民と芸能
同	伊藤 杉人	三河一向一揆について			
同	大園 智	在日韓国朝鮮人の歴史と現状			
同	大谷めぐみ	雲州一畑寺と庶民信仰			
同	大和田朋華	春日社神人について			

同	嶋 善之	中世京都の防衛機構 ― 簾屋制度を中心として―	同	古山 仁子	石原莞爾の戦争構想
同	鈴木 直人	根岸と競馬 ― 根岸競馬の歴史と現在―	同	堀田三千代	能勢妙見信仰の研究
同	高岡奈緒子	戦国期における印判状の一考察 ― 北条氏を中心に―	同	堀 香織	古代出雲と記紀神話
同	高瀬 智彦	日本の戦争責任	同	前田 綾子	土州五台山竹林寺とその周辺
同	近澤 愛子	日本古代の死者儀礼	同	間瀬場良子	石上宅嗣と芸亭
同	土井麻紗子	記紀神話と他界	同	水野 大	財閥と経済発展
同	中井理恵子	卑弥呼と巫術	同	三村 浩己	明治の洋風建築
同	中新 浩司	神仏分離政策と地方的展開	同	柳本 陽平	遠州秋葉山の修験道と秋葉信仰
同	中西 真理	天武・持統朝における高市皇子 ― 皇位継承をめぐる―	同	山内 義之	稲荷信仰の研究
同	西岡 梨恵	『葉隠聞書』における佐賀藩国学と武士道	同	山口 正芳	古代日本と東アジア
同	西垣内 淳	南京事件の歴史的考察	同	和田 恭輔	四国遍路の近代化と変遷について
同	袴田 優二	「邪馬台国」考	同	緒方 聰平	外国人居留地について ― 横浜居留地を中心に―
同	橋本 一樹	近代日本における西洋音楽の受容と発展	同	木村知恵子	日本古代の製塩
同	濱 真紀	西郷伝説について	同	津田 剛	戦国の城と城下
同	原 真由美	南北朝動乱期における民衆	同	中井 成具	韓国併合に至る経緯
同	平松佳央里	明治維新の敗者 ― 榎本武揚―	同	中野 和栄	平安貴族と病氣
同	福田 絵理	中世民衆の生活文化	同	西川 良美	平安貴族と夢
同	藤崎 美佳	中世の建築 ― その意匠と技術―	同	平林 勇子	平安貴族と病
			同	山田 貴子	古代日本人の思想 ― 隠遁をめぐる―
			同	森保 正志	中世における酒造業の発達について
			同	赤桐のぶ子	戦国大名毛利氏の成立
			同	麻田 真代	家記を持つ天皇家・撰関家

同	岩花 美枝	鬼についての考察	同	越智 洋晴	南宋初期に於ける軍閥形成と兵権回収
同	小川 典子	戦国・織豊期における女性の地位	同	末永 好司	荀子の「天人の分」
同	奥村 栄里	平安貴族の物忌について	同	安宅 健人	漢代における游侠の生態
同	金崎 智行	平安期における死後という考えについて て―貴族日記を中心に―	同	家田 ゆかり	元朝后妃伝 ―その権力と政治への影響―
同	川田 優	平安時代の食文化について	同	井上 崇	唐末農民叛乱研究 ―王仙芝・黄巢の乱を中心として―
同	北岸 真人	戦国大名越後上杉氏の成立	同	上野 智久	明代における宦官の増加について
同	清田 千絵	平安貴族の美意識	同	江並 龍介	遼代文化史研究 ―融合から独創―
同	久津那真弓	平安朝の年中行事	同	岡本 哲平	中国近世の航行技術
同	杉本亜紀子	戦争下の女性	同	小瀧 芳	欧陽脩の華夷観について
同	高田 博子	神葬祭について	同	小林 綾	明代の宦官
同	西尾 奈美	御霊信仰について	同	鈴木 裕介	秦代刑罰研究 ―肉刑を中心として―
同	橋本 有加	平安貴族の死と葬送	同	曾篠 友紀	『抱朴子』における仙人
同	林 悠香	藤原道長の高野詣で	同	田中 孝洋	古代中国の死生観
同	樋口 徹	覚如・存覚父子の義絶について	同	田中 博	北宋の市易法 ―その成立と役割―
同	藤井佐衣子	護持僧について	同	中井 奈緒	唐代広州の南海貿易
同	藤原 千春	石山合戦における勅命講和について	同	堀井 愛	カンボジアにおける土着信仰の変容
同	溝口 純一	中世後期の個と集団	同	松村多加世	南宋宰相論 ―秦檜を中心に―
同	光楽 朋尚	織田信長と一向一揆	同	三原 彩子	モンゴル治下の漢地経営 ―とくに耶
同	森 亮介	御霊会の研究	同	村田 望	律楚材の功績とその評価について―
同	守山麻衣子	日本史上における心中について	同	持主 麻衣	マテオ・リッチの研究
同	矢野 智子	小野宮家の女性について	同		元末群雄の攻防
同	山田 倫久	中世における神祇信仰について			―張士誠政権をめぐる―
同	大木 克彦	中国における神獣の研究			

同	森尾 実	軍事面から見る諸葛亮の政治思想	同	今村多麻希	「源氏物語」の「螢の巻」における物語論についての考察
同	吉田 恭子	北魏政権と道教	同	岩田 奈美	三島由紀夫『美しい星』研究
同	渡邊 淳志	『管子』の思想と政策	同	大石 美織	中原中也
同	渡邊 信	中統元宝交鈔について	同	大代 均	「山羊の歌」にみる詩のフォルム
同	前田 哲徳	「茶」考	同	大富 高幸	司馬遼太郎論
同	大角 紘一	一産地と製法の変遷について	同	興津 亜紀	夏目漱石と明治の精神
同	大野あゆみ	老荘思想の展開	同	押谷 絵美	『南総里見八犬伝』研究
同	高橋 孝枝	孫呉の世兵制について	同	勝本 直美	『義経千本桜』の研究
同	留田 猛志	北魏太武帝の廢仏について	同	川口 彩	宮本輝『錦繡』論
同	中口 和哉	前漢文・景帝期の刑法改革	同	河野奈津子	一葉の日記と『雪の日』
同	西野 里	三星堆遺跡と四川	同	河野 真里	一葉『やみ夜』考
同	針本 識史	南北朝時代における道仏論争	同	岸田有紀子	雨月物語蛇性の姪から、中国白話小説との差違にみる秋成の思考
同	舛井 憲子	一夷夏論を中心に	同	楠 悠	『栄花物語』の研究
同	野田 直樹	司馬遷の始皇帝観	同	黒滝 理記	一物の怪を中心として
同	松井 淳	唐における茶の発展について	同	小西 歩美	梶井基次郎『檸檬』の研究
同	赤瀬 聡子	『心中天網鳥』の研究	同	小林真知子	梶井基次郎『檸檬』の研究
同	栗谷 瑞恵	「日本永代蔵」における数字の現実性	同	齊藤 和弥	竹取物語における現実性と伝奇性
同	石井 麻子	村上春樹『国境の南、太陽の西』研究	同	迫田 洋介	幸田文作品研究
同	石崎 晋司	太宰治『桜桃』研究	同	志賀直哉論	一「おとうと」を中心に
同		夢野久作『ドグラ・マグラ』の世界	同		『世間胸算用』の研究
同		夏目漱石の「こころ」における明治の精神	同		太宰治論
			同		一「斜陽」を通しての太宰治





同	吉安 玲乃	同	田辺 路恵	『白氏文集』における閑適詩の研究
		同	玉田 美里	魚玄機詩について
		同	中井香津美	『田舎莊子』の考察
同	米澤 英伸	同	中村紗知子	白氏文集における陶淵明
同	若城 大祐	同	牧田 直子	蘇軾の人生観について
同	永福 麻耶	同	松岡 勇樹	—海南島時代を中心に—
		同	松田 恵子	『水滸伝』に見る虎
同	金洵久美子	同	松本 佳子	仙人伝の系譜
		同	森 敦子	—王子喬を中心として—
同	桐村 陽子	同	藁科 裕美	詩経の中の鳥
		同	一澤 美帆	漢代における音楽政策
同	裕口 敦子	同	川島 佑樹	中国文学作品中の王昭君と王昭君変文
同	竹田 真子	同	澤田 崇文	曹操の樂府詩について
		同	土屋 朋子	『莊子』盗跖篇に見る儒教批判
同	田中 正代	同	早田 一也	墨子思想についての考察
同	中島希実子	同	松本 明子	—天志篇を中心にして—
同	村上 英里	同	樋口純一郎	中唐の伝奇小説研究 —『鶯鶯伝』・
		同	前田 佳久	『霍小玉伝』・『李娃伝』—
中国文学	大鳥羽智子	同	佳久	韓非子についての一考察
		同		唐物語における日中表現比較
同	川村 知子	同		Study of AN ADVENTURE of
同	後藤 晴香	同		HUCKLEBERRY FINN
同	佐野 邦夫	同		A Study of Bram Stoker's DRACU-
同	塩崎 裕	同		L.A
同	竹村 欣樹	同		
同	田中 智里	同		

『聊齋志異』における妖怪の研究

曹植の作品に見る曹丕

曹操の思想

『雨月物語』『吉備津の釜』の研究

夏目漱石『それから』研究

三島由紀夫『美しい星』

—その構造と人物—

『更級日記』研究

—日記中における参籠について—

『蜻蛉日記』

—藤原道綱母、心の変化—

『古今和歌集』の中の色彩

和泉式部日記について —気持ちの移り変わりに重点を置いて—

桃太郎譚の研究

鬼の研究

中上健次『奇蹟』研究

巴金文学について

中国古代の葬制について

『漢書』天文志の研究

柳宗元の文学と仏教について

曹操の思想

曹植の作品に見る曹丕

『聊齋志異』における妖怪の研究

同	石井佐代子	A Study of <i>THE MYSTERIOUS STRANGER</i>	同	辻井麻里	A Study of William Somerset Maugham's <i>The Moon and Sixpence</i>
同	井上 佑香	A Study of <i>LIGHT IN AUGUST</i>	同	中西 香織	a study of <i>Sons and Lovers</i>
同	岩谷 恵美	A Study of Virginia Woolf's <i>The Waves</i>	同	秦 明子	A Study of <i>Light in August</i>
同	岩本沙知子	A Study of J.D. Salinger's <i>The Catcher in the Rye</i>	同	馬場万希子	A Study of <i>Dubliners</i>
同	尾林 大輔	A Study of <i>The Moon and Sixpence</i>	同	日置 克洋	A Study of <i>Dubliners</i>
同	笠井 恵夢	A Study of Jane Austen	同	藤原 行子	A Study of <i>The Adventures of Huckleberry Finn</i> by Mark Twain
同	川浪 仁美	A Study of <i>Great Expectations</i>	同	別所史州代	A Study of <i>The Adventures of Huckleberry Finn</i> by Mark Twain
同	川畑 淳史	『カリーナー旅行記』における風刺と人間存在への批判について	同	北條 涼子	A Study of <i>Mrs Dalloway</i>
同	河村 志帆	A Study of <i>The Grapes of Wrath</i>	同	吉田 優	A Study of <i>Light in August</i>
同	檢舉 愛	A Study of <i>Sons and Lovers</i>	同	渡辺 信	A Study of <i>Light in August</i>
同	國米 栄作	A Study of Two Novels by Jack Kerouac	同	江村 高志	A Study of William G. Golding's <i>Lord of the Flies</i>
同	小嶋 匠	A Study of Daniel Defoe's <i>Robinson Crusoe</i>	同	井崎 雅史	演劇人からみる演劇・演技
同	齊藤久美子	A Study of <i>THE CATCHER IN THE RYE</i> by J.D. Salinger	同	奥村 祐子	クリム童話にみる人間の深層心理について
同	島本 珠佳	A Study of <i>The Adventures of Huckleberry Finn</i>	同	松村 未保	古代・中世・近代のプリュンヒルト伝説の受容
同	菅原 誠	A Study of <i>Alice</i>	同	三浦 大典	フランツ・カフカ論

国際文化学科

文国	化学際	在田 佳織	磯貝 友志	白井 麻里	梅田 瑠衣	遠藤 文	大塚 無我	大屋 博	加藤 浩市	喜多 茂樹	佐伯 郷志	寫 幹夫	谷口 忠雄	津室 伸吾	戸川 桃子	福本 康行	藤川 千尋	松田 篤志						
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同						
		チベットにおける宗教と意識の遍歴	アメリカが日本に原爆を落とした理由	インドにおける輪廻について	ビルマ・タイの精霊信仰と仏教の関係について	女神勢力の動向	Devī Mahatmyaを中心とした一	英国美術にみる文化の特質	シンガポールにおける日本軍占領の歴史	カールサアの抬頭と意義	虐待はなぜ増えているのか？	アメリカの若者たち	「ユースクエイク」の波紋―	カーズト制度とそれを支えるインドの思想	シェイクスピア演劇のおもしろさ	ガンジー暗殺の背景をめぐって	イギリスサッカーの歴史と特徴	チベットの高原と遊牧民	アンコール・ワットの女神たち	チベット医学の身体のとらえ方と病い				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同				
		松田 撰	目片 祥子	吉田 正憲	青沼 永	秋田 聡子	朝倉さつき	飯田 展之	池崎 愛	池田真由子	池本 通子	石原真知子	磯田 真紀	板倉 政憲	伊藤 丞	乾 喜郎	井上 和美	井上 賢太	今井須美子	井村香名子	岩谷 悦代			
		ガンデイーの生涯	サキャ派の成立とその歴史	デジタルは情報社会をどう変えたか	日印通貨儀礼の比較研究	エリザベス一世とその時代背景	中国高齢化社会の問題について	日本酒とワイン	イギリス支配とインド社会	アメリカ陪審制度の研究	アメリカの領土の発展	―建国後から南北戦争まで―	日英における城の比較	プラントハンター	ナショナルトラストに学ぶ	イギリスのパブについて	イギリス人とサッカー	変わりゆくアメリカの家族	―新しい女性の創造―	英国式人生	イギリスの庭園について	ジェイムズ・ジョイスとアイルランド	J・S・Bachマタイ受難曲	―パッサハとキリスト教について―



同	阪本 理恵	日仏の出会い ―明治日本を旅したギ メとレガメー―	同	田子美由紀	イギリスの若者文化 ―一九六〇― 一九七〇年代を中心にして―
同	澤田 順子	メキシコの宗教と文化	同	立川 智	ベースボールと野球 ―その文化的差異―
同	篠原まどか	在日コリアンの文学 ―一世、二世、三世それぞれの姿―	同	谷川 公美	中国医学への一考察 ―鍼灸を中心として―
同	嶋崎登紀子	妖精と妖怪の比較	同	谷本 靖子	児童文学が私達に与えていくもの
同	清水 里美	アメリカ黒人女性の歴史	同	塚 真実	文化大革命についての一考察 ―「紅衛兵」を中心に―
同	清水美貴子	インドにおける輪廻思想について	同	塚本 康嗣	イギリスの自動車
同	清水 陽子	ヒンドゥー教について	同	辻 依江	「ル・グラン・モーヌ」について
同	菅原 早苗	マザー・グースについて	同	土澤 達哉	フランス人の性格、生活について ―比較文化の視点から―
同	杉田 絵美	言葉と国民性における日米比較	同	鶴渕 雅子	日本とチベット ―死生観について
同	鈴木 竜	遺伝子技術のもたらすもの	同	寺崎由記子	映画音楽の歴史とその意義
同	世良 徳孝	イギリスへの移民 ―教育と差別問題―	同	寺田 笑	19世紀の自動演奏装置オルゴールの歴史
同	高木 絢介	イギリスの紅茶文化	同	杜多 陽子	サリンジャーの作品にみられる行者たち
同	高橋 沙苗	日米の危機管理対応の比較	同	内藤 智行	妖精について
同	高橋 秀幸	日英メディアの報道比較	同	内藤 雅之	英国貴族の風景
同	高橋 博嗣	フットボールと国民性	同	中嶋 陽子	メジャーリーグの中に隠れたニグロ・ リーグ
同	田口 恭子	スウェーデンの社会福祉 ―高齢者福祉を中心に―	同	中田 雅子	アメリカの黒人革命
同	田口美由紀	英国紅茶	同		
同	武田 剛至	日系カナダ人について	同		
同	武田 誠	アメリカでのブルースの影響	同		
同	竹村 佳恵	インドの輪廻思想について	同		

同	中西	由美	北米先住民の神話について ー トリックスターを中心として ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	比護麻里枝	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー ケルトの妖精物語 カースト制度について 欧米女性ファッション論 旧約聖書の詩編が人々に与えた影響 現代におけるカースト制度について 七福神にみるインドの神々の考察 日本とアメリカにおける教育の差異に ついて ー 日米高等教育較ー
同	中田	学	ヨーロッパの祭りと日本の祭り	同	比護麻里枝	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	中村	考子	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	菱田 圭佑	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	長沢	はるか	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	日野 輝隆	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	長野	舞	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	平野 恵理	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	西嶋	大介	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	平野 直子	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	西村	公一	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	福山 由紀	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	西本	理砂	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	更田 明子	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	西山	弥生	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	藤井 千華	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	新田	佳代	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	藤澤 幸代	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	根深	瑞穂	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	藤澤麻友子	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	橋田	耕二	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	藤澤 里奈	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	橋爪	雄佐	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	藤田奈美恵	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	花本	英敏	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	藤原 真紀	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	早見	義昭	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同	古谷 沙織	台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー
同	春名	智美	ハングルの普及について ー 漢字、ハ ングル、そしてローマ字ー シャーロック・ホームズの魅力 星座の神話と大熊座と大熊座に含まれ る北斗七星のシンボルについて 日本とスウェーデン、アメリカにおけ る高齢社会と社会福祉	同		台湾の民主化について ー 李登輝体制 下での政策からみる民主化ー



同	山田 寿子	北米先住民について ーラコタ族を中心にー	同	近藤 篤	アメリカ人の自然観
同	山田真佑子	文化大革命期 ー毛沢東夫人江青の野望ー	同	秋吉 佑美	世界の様々な犬と人間との関係
同	山村 英之	チベット密教とツォンカバ	同	池田 尚子	日本茶と紅茶
同	山本 耕平	時を越え、世界に響き渡るブルースの 魅力に迫る	同	稲永 紅	日本人とビール
同	山本 沙織	インカ帝国とその滅亡	同	大内 理代	日中教科書問題について
同	弓場 麻琴	レイチェル・カーソン『センス・オブ・ワンダー』に見られる子育てについて	同	亀山 知里	都市戸籍と農村戸籍の抱える諸問題 ドイツにおける環境への取り組み方 ー日本との比較の中でー
同	横川 聡子	芸術教育 ーパレエ	同	境 倫子	ビデオ教材におけるドラマ形式導入の 研究
同	吉居 剛	地域振興と文化 ー長浜市黒壁の例ー	同	鈴木 浩	ヘンリー・フォード
同	吉川 誠	幼児のしつけと教育の日英比較	同	東野 聡	日中食文化比較 ー豆腐についてー
同	吉田 麻美	日本とイギリスにおける茶文化について	同	榎田真由美	ジャズの歴史と文化を考える
同	渡邊 智之	ブルースが持つ歴史とその多大なる影 響力	同	富田 香	フランスの食文化について
同	渡邊 由美	アメリカ・インディアンのかかえる諸 問題	同	中山 早織	昔話における色彩をめぐる
同	渡里 友子	古ウバニシャッドにおける根本原理の 追求	同	野添 千鶴	「ダンディズム」をめぐる
同	仲原 彩	イギリスの若者文化と音楽の変遷	同	林 亜沙美	在日中国人児童の教育問題
同	角崎 雅樹	England Soccerの強士の秘密	同	藤川 昌代	アイルランド島に住む人々の21世紀
			同	藤崎 信	日本とドイツにおける幼児教育 差別について
			同	三原 雅志	映画に見るインド
			同	宮林 賞江	「薩迦格言」についての考察 ー第九章の教えー
			同	村上 紗生	アメリカ映画について
			同	村田 清治	



同 文 光恵

在日一世から見る日本社会

ーアボジの生涯を通してー

20世紀の英雄・ビートルズ

ヘミングウェイ文学

武士道と騎士道との比較

女性らしさについて

オーストラリアのウルルについて

ミャンマーの民間信仰におけるナツ信

仰

ーマハーギーリ・ナツ神についてー

同 山口 久志  
同 山崎 泰宏  
同 吉村健太郎  
同 渡邊 千尋  
同 河瀬 修治  
同 瀧澤 直実

仏教科

氏名 研究題目

- 竹原 健 無碍の一道 — 『歎異抄』を中心として—  
 鳥居 真隆 弥陀の誓願 — 『歎異抄』を中心として—  
 大口 武則 不二の世界 — 善と不善をめぐって—  
 改森 庸平 浄土の慈悲 — 人の愛、やさしさについて—  
 北浦 智美 親鸞の宿業観 — 全ての努力は報われるものか—  
 木下 亮希 悪人成仏 — 善人・悪人の基準—  
 銀田 琢也 「空」 — 維摩経を中心として—  
 里田亜沙美 無碍の一道 — 関係の中の私—  
 多賀 大樹 回心 — 仏教との出会い—  
 塚野 美穂 浄土の慈悲 人との関わりあい  
 鄭 信義 無碍の一道 真宗の基本  
 小川 辰雄 弥陀の誓願 — 空過を超える—  
 百目木陽雄 回心 — 「であい」について—  
 直江 弘憲 回心 本当の立脚地  
 南部 陽介 本願の名号 南無阿彌陀仏の根本  
 西村 昌桐 不二の世界 あるものはあるようにあるのか？  
 野村 薫 法蔵菩薩 — 菩薩の精神とは何か—

文化学科

- 野村 正示 回心 — 「願い」に遇う—  
 八田 尚芳 悪人成仏 善人と悪人の異いについて  
 堀前 裕見 回心 「生まれ変わり」とは  
 本多 大智 悪人成仏 人はなぜ救われるのか  
 松尾 智香 回心 後悔しない生き方を求めて  
 森島 壽洋 回心 法然と親鸞の出会い  
 山根 靖弘 唯識 迷いと悟り  
 吉岡 辰真 如来よりたまりたる信心 自分という自分  
 渡邊 哲子 悪人成仏 — 善人・悪人とは何か—  
 北條 義宣 乞食裏話  
 御館 愛弘 モードについて  
 金山 圭輔 フランスの味覚の歴史  
 高橋 弘周 人権問題について  
 立島 哲也 逆差別・無関係などの背景—  
 桃原小百合 景観意識について — 日欧比較文化の視点から—  
 滑 彩子 梶井基次郎 「城のある町にて」  
 西川 大輔 日本の昔話と西洋の昔話 — 落窪と灰かぶり—  
 日本人の心を考える  
 ユングの東洋思想観を手がかりに

- 羽田野泰佑  
星 直樹  
松尾 剛明  
村上 尚紀  
青木奈緒子  
秋本 有紀  
浅野 真実  
足立 京子  
足立 純子  
綾部 博之  
有賀 麻衣  
飯塚舞紀子  
五十嵐純一
- 池田佳奈枝  
池田麻由子  
石黒友佳子  
石田 和恵  
石塚和歌子  
磯畑 陽子  
市橋 透江
- 日本と仏教との関係  
山本周五郎研究『季節のない街』について  
アーネスト・ヘミングウェイの人生観  
―老人と海を中心に―  
独立後のインド  
大衆文化における晴明像の考察  
平安時代に生きた男と女について  
ダニエル・キイスの世界  
中国の吉祥物としての龍について  
―アジアの龍との比較―  
インドの女性の生き方について  
中国の魚について ―日本で有名な金魚―  
いざなぎ流と陰陽道  
鯖街道  
歴史を動かす諸要因の研究  
―関ヶ原の合戦を例にして―  
*Taking Sides Exercises*  
古代中国の刑罰について  
―日本の刑罪と比較して―  
晴明神社にみる安倍晴明の生涯  
シャーマニズムと陰陽道  
*Taking Sides Exercises*  
安倍晴明伝説について  
ニュージールランドの先住民マオリ
- 井ノ口沙弥香  
今村 俊輔  
上嶋 純子  
上田 恵子  
上田早弥香  
上田 萌子  
確井恵理子  
白谷 秋人  
内田みゆき  
梅原 夏海  
大隈 智史  
太田千亜紀  
太田 智子  
大谷 沙織  
大塚 尚紀  
大西さやか  
大橋さちよ  
大橋 理恵  
大庭 真琴  
大藤佐恵子  
大森 正波  
大森 優子  
岡村 麻衣
- お香について ―日本のお香と世界のお香―  
中国酒について  
グリム童話論  
インドの食事  
インドに生きる女性  
京都市の交通  
仏教美術の広がりについて  
漫画の歴史  
―その起源と戦後の新展開について―  
ビートルズの世界  
香辛料について  
サッカーで見る日韓の比較  
インドの食文化について  
嵐山について  
インド亜大陸の音楽について  
鬼の研究  
インドの音楽  
玄米信仰の真偽  
携帯電話の低年齢化  
陰陽道（特に天文）について  
安倍晴明の呪術と祭祀  
中国の小説 ―心理学的見地から―  
和菓子文化史  
夢と眠り

- 小川 祐一 コメディアン・松本人志研究  
 奥田 円 式神の世界  
 奥村 貴代 中国茶の世界  
 小俣沙奈恵 太宰治「女生徒」研究  
 折笠 直子 貴船神社について  
 勝見 友理 マザーテレサについて  
 金子 朋美 インドの宗教について  
 壁下 麻美 ユダヤ人虐殺について  
 釜口 恵美 琵琶湖について  
 上仲 彩子 文字の変容  
 川上 由依 カースト制度について  
 川島奈央美 藤原道長の栄華について  
 蒲生 陽子 インド社会とヒンドゥー教  
 木村有紀子 志賀直哉「城の崎にて」研究  
 木村 有里 「銀河鉄道の夜」について  
 桐木 瑠美 箸の文化史  
 草木 恵美 化粧の文化史  
 草間由希子 住居観の研究 ―トラジャ族の場合―  
 国本 梓 パンの文化史  
 小出奈緒美 映画文化とアメリカ  
 小西 基博 中国の福祉について ―日本と比較して―  
 小山 智江 美女と野獣  
 坂井麻衣子 中国における猫  
 貞由 隼 仏像について
- 佐藤 恵那 *Taking Sides Exercises*  
 佐野 寿子 髪飾り日中比較  
 塩崎 早耶 インドの生活  
 茂山 雅子 チャイナドレスの歴史について  
 下戸 有希 仏教とイスラム教について  
 下森 崇生 米について  
 杉本 佳世 暁の文化史  
 杉本 英彰 インドの衣食住について  
 鈴木 麻里 京の和菓子  
 住澤 千恵 家庭排水と石けん  
 角田 祥亮 ブラックバスに関わる諸問題  
 清野 暁子 煎茶について  
 関 香菜子 米菓のあゆみ  
 仙波美智子 現代いけばな私考  
 高木 千尋 クレオパトラについて  
 高桑 嘉浩 レゲエ研究  
 高橋 愛 民族衣装について  
 竹田 彩 遊牧民と家畜文化  
 武田 優樹 中国のトイレについて  
 竹ノ内利奈 王朝女流作家の世界  
 田中 愛子 宇治茶について  
 田中 弓恵 若者の対人心理学  
 田村今日子 浦島太郎の世界  
 塚本麻衣子 夜空に関する信仰 ―七夕と十五夜を中心に―

- 寺坂 尚子 清少納言と枕草子  
 寺下 智 死後の世界  
 徳富麻衣子 中国の結婚事情  
 友澤 幸恵 アメリカンスピリッツ  
 内藤早知栄 女性の在り方・生き方 ―中国と日本との相違―  
 仲尾 梨花 チベット文化について  
 中川佳代子 現代に生きる陰陽道  
 中川 智之 中国の麻將の歴史と日本に伝わった麻雀との比較  
 中辻 梓 宮崎駿の世界  
 中村久美子 女の歴史 ―平安時代と現代の女性―  
 仲村 知佳 少年犯罪と社会との関わり  
 中村美喜子 中国茶について  
 中村 美幸 安倍泰親 ―平安期陰陽師の代表者―  
 中村 有希 インダス文明の考察  
 中村 結美 平安時代の菓子  
 永井 梢恵 安倍晴明伝説について  
 長須 利賀 殭屍について  
 長縄 友規 占い及びまじないについて  
 南隅 一郎 中国少数民族の婚姻と家族関係  
 西 宏輝 ロレックス文化論  
 西岡 梢絵 住居の研究  
 西川亜矢子 酒の文化史  
 西川久美子 陰陽師安倍晴明の研究  
 西上真貴子 中国のIT情勢
- 西澤由起子 仏教美術について  
 西村英理子 中国のパンダ  
 西村 加奈 吉本ばなな『キッチン』研究  
 西村 麻衣 舞妓について  
 西山 千種 バリ島 ―ガムラン音楽とその世界  
 橋本みのり 『源氏物語』と紫式部  
 林 明彦 卓球について  
 林 めぐ美 歌舞伎について  
 林 有佳里 インドの民族衣装  
 原田千菜美 中国の神話について  
 原田 浩子 平安貴族の日常生活について  
 久永 文 紅茶文化  
 平田 好子 日米文化の比較  
 福島久美子 十二単の魅力  
 藤田 良平 中国の人口抑制政策について  
 藤原 利恵 紫式部とその生涯  
 藤本ほたる 万葉人の食生活 ―復元と共に歌を読む―  
 古川奈津紀 山田かまらの世界  
 細川 節 夏の庭―The Tentsを通して考える人間の死  
 堀田 佑介 青少年と現代社会  
 堀 麻有子 レイプカルチャーの功罪  
 堀井麻里子 紫式部について  
 前田 智旭 「走れメロス」研究  
 前納 真美 日中結婚事情 ―国際結婚を中心に―

- 増田 直子 平安時代の生活習慣について  
ダイエットと健康
- 松井香代子 *Taking Sides Exercises*
- 松浦 真理 枚方・交野市域にみる陰陽道
- 松尾 恵理 *Taking Sides Exercises*
- 松本 聖子 スポーツと女性
- 松山 亜由 英語にみる敬語表現
- 丸川由記子 インドの美について
- 三木絵美子 *Taking Sides Exercises*
- 水野 祥徳 *Taking Sides Exercises*
- 峰 千尋 古代中国における服飾文化
- 宮崎真理子 紫式部と清少納言
- 向井 里佳 中国の音楽
- 村井 康眞 歴史教科書を見直す ―現代の歴史教育の検証―
- 村中 恵 カースト制度と差別
- 望月 与子 京ことばの成り立ち
- 森井 ゆみ 地球環境と日本
- 森口 恵介 着物の文化史
- 安村 千佳 都市的空間と港町の町並み景観保全について
- 矢野 有香 競馬私論
- 山下陽一郎 男女のコミュニケーション
- 山科沙耶子 景德鎮の陶磁器について
- 山谷恵理子 黒人の音楽文化 ―HIP・HOP―
- 山中 札 中国の人口問題 ―一人っ子政策について―
- 山根 正典
- 山根 美紀 通信と現代文化
- 山根 夕季 遊牧世界における現代 ―モンゴル国
- 横山 京子 芥川龍之介『羅生門』研究
- 吉田めぐみ シンデレラ(灰かぶり)について
- 吉村 亜弥 デイズニーの世界
- 吉村瑠見子 *Taking Sides Exercises*
- 余田 翔伍 南京大虐殺
- 脇 眞生 インド建築 ―タージ・マハル―
- 幼児教育科**
- 古川 季以 子どもと集団生活
- 上野 愛 母親の役割・父親の役割
- 荒井 幸恵 子どもとテレビ
- 伊佐 美幸 歌うことのよろこび
- 石塚 未奈 「コロちゃんはどこ？」論
- 石畑 燈子 家庭環境について
- 市原 正護 絶対音感について
- 岩田美那子 変わりゆく結婚観と女性のライフスタイル
- 梅田 明菜 家族関係論
- 恵藤亜紗子 児童虐待について
- 大石 明子 「わがままな子」について考える
- 大橋 舞子 子どもにとつてよりよい環境とは
- 大八木香澄 「聴覚」障害児保育について
- 岡部 珠巳 子どもと伝承遊び

- 奥川 優美 保育者と子どもの関わり  
 川瀬 佑佳 くずれゆく家庭環境 ー幼児虐待ー  
 川元あゆみ 「しかるとほめる」について  
 北 美保子 千葉省三の世界  
 北野智佳子 障害児保育の在り方 ーダウン症を中心にー  
 木村いずみ 親子関係  
 木村小与里 子どものしつけについて  
 公庄 梓 子どもの発達と遊び  
 小出水理恵 幼児の遊びについて  
 高坂麻理子 虐待児への援助の課題  
 小杉 恭也 乳幼児期における歌と親子関係  
 小原 裕子 子どもを取り巻く環境について  
 木挽よしえ ー大人の絵本ー考  
 近藤 静香 子どもの食生活  
 近藤真由美 子どもと環境 ー保育内容からー  
 坂下 絵美 子どもとの表現活動  
 坂本 磨矢 早期教育について  
 ー絵本とのかかわりを中心にー  
 ー考えるーということ  
 指方 和音 林明子の世界  
 佐藤 恭子 子どもとうそ  
 鹿田美紗子 人と動物のかかわり  
 篠塚乃莉子 人格障害に子ども期の養育がもたらす影響  
 白子 佑実 子どもにとつての遊び  
 菅野 由美
- 杉江 純子 ごっこ遊びの中の子どもたち  
 堯 静香 子どもと絵本との関わり  
 高森 美紀 言葉とコミュニケーションについて  
 宅間 花苗 子どもとの関わりから学んだ言葉掛け  
 ー叱ると褒めるを中心にー  
 竹内 佐季 自閉症について ーバリアフリーの保育の中でー  
 田中 愛 虐待の現状と今後の課題  
 田中 沙知 統合保育について  
 田中 紀子 歌唱指導  
 佃 尚美 子ども遊びを考える ー現代、遊びの問題点ー  
 辻 敦子 宮崎駿マジック  
 寺石 麻里 「ほめること」と「しかること」  
 寺尾 綾乃 子どもと環境 ー自然とのかかわりー  
 殿村 祐希 子ども遊びとわらべうた  
 富永 幸子 絵本について  
 堂山 舞 「千と千尋の神隠し」の魅力について  
 中北那美栄 子どもをとりまく環境 ー虐待についてー  
 中原真知子 少子化について  
 中村 香里 とびだす絵本と子どもの創造性  
 中村 貴史 同和保育  
 中村裕見子 西巻茅子の世界  
 新居 香 子どもへの自己肯定感を育むために  
 西 絵美子 子どもと遊び  
 西川 華代 いい子が起こした犯罪

西濱 裕子  
 西村 温子  
 野田 美芳  
 羽田真紀子  
 菱野 聖子  
 福田 壮  
 藤井 恵里  
 古川佳世子  
 前島 知子  
 前田 剛志  
 松岡 三晴  
 松田 享子  
 丸岡由実子  
 丸山 明子  
 三上 恭子  
 南 正樹  
 宮城真由子

『あさえとちいさいもうと』の魅力を探る

脇田 梨沙  
 和田 美紀

子どもをとりまく環境について  
 リズム遊び

子どもを見つめる保育

子どもと造形遊び

「かちかち山」の再話について

子どもへの音楽的はたらきかけ

子どもの遊びと環境

しかけ絵本

子どもと音楽

子どもと遊び

折り紙について

真似をするということ

創作活動について

中川季枝子の世界 —いいやいやえんを中心に—

子どもとおもちや

子どもにとっての遊び

デイズニー絵本の問題点

—「くまのプーさん」を中心に—

アーノルド・ローベル作「ふたりはともだち」論

子どもといたずら

子どもにとって「ふれ合う」ことは

自然で遊ぶ

幼児期に大切なこと

絵本に描かれた情報機器 —携帯電話を中心に—

吉原 千夏  
 横山 純奈  
 吉谷 裕美